

2024-25年度クラブ目標

『思いやりがある 感謝のロータリー』

創立1986年



2024-25年度国際ロータリーテーマ

会長 阿部 克弘  
幹事 十文字 光伸

## 第1829回例会

令和6年11月7日 (18:30~19:30)



○ソング

- 君が代
- 奉仕の理想

○スマイルBOX

- 阿部克弘会長 (新会員の近藤さん市川さん入会おめでとうございます。地区大会の報告を山縣先生、齋藤愛さん有難うございました。)
- 十文字光伸幹事 (今日は近藤勝人様、市川正人様入会おめでとうございます。)
- 永野文雄会員 (会員卓話の齋藤愛会員、山縣会員ありがとうございます。地区大会出席者はご苦労様でした。)
- 吉野敬之会員 (市川さん、近藤さん入会おめでとうございます。今後共宜しくお願い致します。先日のゴルフコンペではメンバーにもめぐまれました優勝させて頂きました。ありがとうございました。)
- 大竹憂子 (10月19日のことですが、帰宅してびっくりしました。結婚記念日、忘れていました。ステキなお花ありがとうございました。)
- 永山竜太郎会員 (着用機会が減ったとはいえ、まだまだ必要な時が多いと思います。スーツなどのオーダー会、明日より開催です。ぜひこの機会に)
- 運天直人会員 (結婚記念日の月を迎えました。おかげ様で丸25年になります。これからも精進してまいりますのでよろしくお願い致します。記念品ありがとうございました。)
- 鈴木孝幸会員 (4週間ぶりの例会出席となりました。10月の誕生日祝い、ありがとうございました。ちょっと多くスマイルさせていただきます。)



11/7 本日のメニュー  
 ・豆腐サラダ  
 ・ひじき煮  
 ・トンテキコールスロー添え  
 ・白飯  
 ・鶏肉と里芋の芋汁  
 ・香の物・フルーツ

【今週の仮メイクアップ会員】

- 11月2日 地区大会  
阿部克彦、石川格子、金田昇、十文字光伸、諸橋和典
- 11月3日 地区大会  
阿部克彦、居川孝男、石川格子、運天直人、大住由香里、兼子聡金子昇、齋藤愛、十文字光伸、関谷亮一、長克則、成井正之藤田龍文、堀田一彦、松永紀男、村上堅二、諸橋和典矢田部錦四郎、山縣栄寿、山口治、吉成真五郎、渡部勝也

▶第1829回例会出席状況 (R6年11月7日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	53名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	19名
Ⓓ 全正会員数	72名
Ⓒ ①の出席者数	27名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	12名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	39名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	65
⑩ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	60%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30~19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

## 本日のプログラム

### ■会長の時間

阿部克弘会長



皆さん、こんにちは。

本日も例会に出席をいただき感謝申し上げます。

有難うございます。

さて本日は11月2日・3日と郡山市のユラックス熱海で開催された地区大会の報告が後ほどございます。

2日・3日と連日に渡り開催された初日を私から簡単に報告をさせていただきたいと思えます。

私は会長会にそれから本会議に出席しました。会長会では議事として2023-24年度の決算・監査報告並びに決算承認の件、2028-29年度ガバナー候補者選出方法の件、2024-25年度地区大会決議(案)の件すべてが承認されました。

続いて郡山市生まれで会津若松市出身、国際ロータリー第2550地区、そして宇都宮90(ナインティーン)RCの過去の会長をされた、RI会長代理の飯村慎一様をお迎えして本会議が開催されました。続いて地区ラーニングセミナーでは国際ロータリー第2840地区・過去のガバナーの田中久夫様、高崎ロータリークラブ所属で職業分類はなんと大学教授で「クラブを活性化してロータリーを楽しもう」のテーマで講演がありました。田中様はロータリーの魅力を伝えるためにご自身が経験した実話をもとに「ロータリーに入ろう」を執筆されて2万部を売り上げているそうで、会長をされた時に51名を増強されました。その時はやはり「犬バカ」になられたという事で、今年のユーキャン新語・流行語大賞のノミネート語30にですね「界限」という言葉がノミネートされました。これはZ世代でSNSで波及されましたが、界限と言えばその辺りとかの地理的範囲を表していますが、最近は「共通の人々」の意味合いで使われるようで、そうすると私も「犬バカ」なので、ひとくくりすれば同じかなと思えますが、ロータリークラブの会長として足元にも及ばないです。尚、ガバナーもされましたが、その時も地区の会員数を50名増強された事をユーモアたっぷりにお話していただきましたがとにかく凄い方だと思いました。

続いてその後RI会長代理ご夫妻の歓迎晩さん会が開かれてその日はお開きとなりました。また当日は同じ会場の別な場所で学友ナイトが開催されて石川会員が参加していただきました。

先程も申した様に二日目は、山縣先生と齋藤 愛会

員に報告していただきますが、私の個人的な二日目の感想ですが「記念講演」の講師をされた元ラグビー日本代表で郡山出身、そして日本大学工学部出身の大野均さんの講演が今まで参加した地区大会の講演で一番響いた内容であります。パワーポイントを使われて、スクリーンの映像や構成がとても良く、最初大好きな野球では大柄な体格なのにレギュラーになれず最後まで「秘密兵器」で終わってしまった事や、ラグビーに転向したのが遅かったせいで「パス」や「キック」が誰よりも下手だったと話されて、猛練習して日本代表になった事を謙虚にお話されていました。真面目で奢り高ぶらない性格が何よりも私にとっては好感が持てたのはとても良かったです。私も精進してその様になりたいなと思ってその日は帰って参りました。

なかなか会長の職責というのは大変だなと、実際自分で体験してそう思いました。今までの過去の会長さんには大変なご苦勞をされた事に敬意を表したいと思います。

本日は後ほど地区大会の報告やセレモニーもありますので、私の会長の時間は以上とさせていただきたいと思えます。本日もどうぞよろしくお願い致します。



### ■幹事報告

十文字光伸幹事

○株式会社 オクトン：2024年11月からの襟章について

### ■正会員バッチ授与式



### ■新会員

近藤勝人会員



近藤でございます。まだまだわからないことばかりでお手数取らせることもあるかと思いますが、ご指導のほうよろしくお願ひいたします。

## ■新会員



お世話になります。

## 市川正人会員

皆さん、こんにちは。東邦銀行新白河支店の市川でございます。寺島の後任でまいりました。これから会計の職務をしっかりとしていきたいと思しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## ■雑誌広報委員会



それでは、雑誌広報委員会より今回のロータリーの読みどころをお伝えしたいと思います。まず初めに、横メニューのほうからお伝えしたいと思います。今月11月はロータリー財団月間ということもありまして、ロータリー財団の父アーチ・クランプの生きた時代ということで、始まりの年表なんか書いてあります。わたくしが今回特に気になったのが、12ページの「寄付はどこからどれだけ集まって何に使われるのか」というところ。実際我々が寄付してお金がどういうふうな使われ方をしているのかということが詳しく書いてありまして、これが非常に興味深かったところです。日本からの寄付は会員数が減少傾向にあるにもかかわらず増加傾向にあるというところがびっくりしたのと、日本のグローバル補助金の約半数が奨学金に使われているということが非常に為になりましたので、皆さんご一読いただければと思います。34ページのロータリーアクトという部分でびっくりしたんですけど、岡山理科大学のローターアクトクラブというのが会員数101名いるそうで、活動としてはゴミ拾いやったりしてるみたいなんですけど、岡山西ロータリークラブと共同でスリランカの現地に行ったりして、現地の人々達と交流してるような内容が書かれてありました。こういう若い力も頑張ってるんだなというところが参考になりました。続きまして、反対側の縦メニューのほうに行きますと、今回新札の顔にもなりました津田梅子さんの話がありました。今でこそ女性と男性が4年制大学に進学する比率としては、大体半分半分ぐらいになってるそうなんですけど、それから先というところではやっぱり女性が少なくなってしまうということが書いてありまして、こういうのを同じような比率にしていくためにも、ロータリー財団の奨学生という制度を生かしながら増やしていきたいということが書いてありましたので、今月号に関してはこのロータリー財団の重要性なんかを沢山書いてある内容でした。皆さん、ご一読ください。以上となります。

## 瀬谷隆志委員長

それでは、11月3日に磐梯熱海郡山ユラックスで行われました国際ロータリー第2530地区2024 - 25年度の地区大会に参加した感想とご報告をしたいと思います。3日の日午前中は、ガバナー早川さんをはじめとする各関係者の方からご挨拶をいただきまして、各地区の現状報告。また、各種表彰式や感謝状を贈呈する式典が行われました。その後、昼食を挟みまして午後の部は米山記念奨学金を受けている学生さんの紹介やスピーチ、そして留学生の紹介。その後、記念講演会で元ラグビー選手の大野均さんのラグビー人生の軌跡についてのお話をお伺いしました。大野さんは郡山市の出身で日本大学工学部に入学してからラグビーを始めたということです。それまではスポ少の野球をずっとしてらっしゃったそうなんですけれども、大学に行っても野球をそのまま続けたかったのが、屈強な男の人たちにラグビー部に連れていかれて、それがきっかけでラグビーを始めたというようなことを仰ってました。先程、会長さんからもあったように大野選手はパスとかキックとかとても苦手で不器用な選手だと自分では仰ってたんですけれども、じゃあ自分がそのチームに何が貢献できるかというのを考えた時に、とても大柄な方なのでその体格を利用してタックルを極める練習を必死で積み上げていったこと。あとは日本代表とはいえ寄せ集めのチームだったために、本当に外国の選手なんかもいたということだったので、日本のまずは国歌を教えて差し上げたりとか、あとは話し合いを重ねて行ってチームを一から作り上げていったというようなことも仰ってました。私は存じ上げなかったんですけれども、5つのラグビー憲章というのがあるそうで、品位、尊重、結束、規律、情熱。その5つに乗っ取って作り上げていったチームだったということを仰ってました。その強くなるために厳しい練習に耐えたその努力だったり苦勞を映像を交えてお話をしてくださったので、とても分かりやすく感動的なお話でした。大野さんは

## ■本日のプログラム

## 地区大会報告

## ○齋藤愛会員



それでは、11月3日に磐梯熱海郡山ユラックスで行われました国際ロータリー第2530地区2024 - 25年度の地区大会に参加した感想とご報告をしたいと思います。3日の日午前中は、ガバナー早川さんをはじめとする各関係者の方からご挨拶をいただきまして、各地区の現状報告。また、各種表彰式や感謝状を贈呈する式典が行われました。その後、昼食を挟みまして午後の部は米山記念奨学金を受けている学生さんの紹介やスピーチ、そして留学生の紹介。その後、記念講演会で元ラグビー選手の大野均さんのラグビー人生の軌跡についてのお話をお伺いしました。大野さんは郡山市の出身で日本大学工学部に入学してからラグビーを始めたということです。それまではスポ少の野球をずっとしてらっしゃったそうなんですけれども、大学に行っても野球をそのまま続けたかったのが、屈強な男の人たちにラグビー部に連れていかれて、それがきっかけでラグビーを始めたというようなことを仰ってました。先程、会長さんからもあったように大野選手はパスとかキックとかとても苦手で不器用な選手だと自分では仰ってたんですけれども、じゃあ自分がそのチームに何が貢献できるかというのを考えた時に、とても大柄な方なのでその体格を利用してタックルを極める練習を必死で積み上げていったこと。あとは日本代表とはいえ寄せ集めのチームだったために、本当に外国の選手なんかもいたということだったので、日本のまずは国歌を教えて差し上げたりとか、あとは話し合いを重ねて行ってチームを一から作り上げていったというようなことも仰ってました。私は存じ上げなかったんですけれども、5つのラグビー憲章というのがあるそうで、品位、尊重、結束、規律、情熱。その5つに乗っ取って作り上げていったチームだったということを仰ってました。その強くなるために厳しい練習に耐えたその努力だったり苦勞を映像を交えてお話をしてくださったので、とても分かりやすく感動的なお話でした。大野さんは



192センチというとても大きな体の方で、私最後にお写真を撮らせていただいたんです、その時、握手もしていただいたんですけど、ちょっと手とは思えないようなグローブと例えるのもちょっと違うような、なんとも言えないようなものすごい大きな手をされている方でした。その方が真っ黒になって、泥だらけになって歯を食いしばって練習する姿にその映像に、私だけじゃなくて会場の多くの方が途中ハンカチで涙を拭いたりしていたので、すごく心打たれたんだと思います。厳しい練習を課すことで知られている当時の監督、エディ・ジョーンズ監督さんという方の指導のもと、そのハードワークの先にある勝利を信じてできないことを言い訳にしない姿。それを必死で努力でカバーする姿というのを見て、本当に真っすぐで努力家の方なんだなというふうに感じました。激しく体をぶつけあうラグビーは球技の格闘技とも言われるそうですが、大野さんの大きな体からは想像できないような穏やかな語り口調だったりとか優しい眼差しというのがとても魅力的な方でした。私はこの4月に皆さんもご存じのとおり、ロータリーに入会をしまして約半年経つんですけれども、できるだけ早く皆さんの一員になりたいと思って、できる会合等は出席をさせていただいていました。今回地区大会に出席して、本当にまだまだロータリーの組織というものを理解していないんだなということに改めて気付かされて、初めここに入会した時にいただいた冊子が棚の中にそのまま実は開かず置いてあるんですけども、それをちょっと引っ張り出してきて勉強しなければいけないということはこの地区大会に参加して感じました。今回の大会には、インターアクトクラブ、高校生ですかね、学生さんも多数参加しておりまして、私も白河女子高校時代に当時はインターアクトクラブ、女子高がありました。そこに入っておりまして、その時に募金活動だったりとか献血活動。あとは支援を必要とする方が入所してる施設での訪問活動をしてたことを、久しぶりにその学生さんたちを見て思い出しました。現在の旭高校には、インターアクトクラブは残念ながらなくなってしまったとの事なんですけれども、私はあの時にクラブでさせていただいた経験というのがとても貴重で今の私の職業観にも大きく影響していると感じています。様々な人がいて社会が構成されていて、それぞれがお互い配慮があって、そしてそれが社会人になれば仕事を通して社会に貢献するというのを学べるとも良いクラブだと思っています。そんなクラブが是非白河地区にも理解されて、クラブを立ち上げてくれる学校さんができればいいなと、いろいろな地区から来てる学生さんの初々しい姿を見ながら思

いました。私はこの白河を支えている多くの方が所属する白河西ロータリークラブに入会出来て、まだまだ何のお役にも立っていませんけれども、楽しく通わせていただいています。今後もよりロータリーを深く理解して職業をとおして、子供達のためにできる奉仕活動を考えていきたいと思っております。今回の地区大会の参加でその思いがより強くなりました。以上です。ありがとうございます。

#### ○山縣栄寿会員



はい、それでは楽しいお食事してらっしゃる方もいらっしゃいますし、コーヒー飲んでる方もいらっしゃるかと思うんですけども、当日大住プログラム委員長さんから報告お願いねと言われて、はあみたいなのでも、言われれば断れない性格なので。ちょっとパワーポイントというのを10年ぶりくらいに使って作ってってみました。やっぱり可視化した方が皆さんちょっと眠くならないかなと思いますので。多分、コーヒー飲んでも眠いですよね。お茶飲んでもね。ちょっと少しの間ですけども、お聞きいただければと思います。よろしく願います。それでは、これ最初の画面ですけどこれは「ユラックス熱海」二日目の地区大会の看板と、残念ながら地区大会に参加されなかった方には今、多分袋の中にこういったプログラムというのが入ってるかと思うんですけども。こういった形態のプログラムの表紙です。これがプログラムの2~3ページなんですけども、先程も会長さんからのご説明もありましたけど、二日目のプログラムの内容です。この時、参加された方が5名で、阿部会長、十文字幹事、金田ガバナーノミニ、諸橋会員、石川会員でした。その時の一部写真いただきましたので、地区大会の会長会の会場図とか会場の写真とか、リーダーランニングセミナー研修会の会場図。あとは、その時にやられたのも奉仕の理念による実践経営とクラブを活性化してロータリーを楽しもうという内容でした。これが三日のプログラム内容なんですけども、プログラムを今お持ちの方は4~5ページの内容と重複化してきます。参加者が21名程参加していただきました。ありがとうございました。これから



説明する点はその赤枠の三点について要約で説明したいと思います。青枠の部分に関しては金田ガバナーノミニーがご挨拶されたということで、その写真もちょっと掲載しておりますので、それも見いただければと思います。赤い枠に関しましては、一つは早川ガバナーさんが地区の現況報告ということでされた内容をちょっと要約して説明したいと思います。二つ目が、各種表彰ということで、本会のクラブからの表彰者おりますのでその方を紹介したいと思います。あと幾つか重複はしますけども、講演の大野さんの内容も文字化してご説明させていただければと思います。まずは、金田ガバナーノミニーの挨拶の写真です。こういった形で金田ガバナーノミニーが挨拶されました。本当に格好いい姿で惚れ惚れする感じでした。でも、皆さんちょっと金田GN挨拶写真という漢字をちょっと見てもらいたいですけども、これ金田ガバナーノミニーのGとNを取ったんですけども。これ何回も見直したんですよ。間違ってもNGにはなっていないだろうなということ。ちょっと大変なことになってしまいましたのでね。本当に金田ガバナーノミニー格好良かったです、地区現況報告ということで早川ガバナーの三つほどあるんですけども、大きくお話を聞いててもなんか各地区から報告されたのがあったんですけども、ただそれに対してのお願い事という感じかなという気はしました。その部分について、ちょっと説明いたします。青少年奉仕委員会についてということでインターアクトということで12歳から18歳の、先程も愛会員からもありましたように福祉ボランティア活動ということで、そのクラブ活動とか部活動やっける学校のような、県立高校。それが現在、福島県には23校ある中で、今年は2つのクラブが閉鎖になった。けども、新設として県立1校と私立1校ができましたよと話されてました。RYLAにつきましては地域青少年指導者育成研修会ということで、各クラブから最低来年の3月15か16日、「華の湯」であるので参加させてくれということです。青少年交換も行ってますということで、高校生がアメリカへ2人、アメリカから2名来てらっしゃるそうです。具体的にはちょっと名前はあがってはきてませんでしたけど、アウトバウンド、インバウンドですよというふうにお話されました。二点目ですけども、ローターアクト委員会については2019年の10月に年齢制限が撤廃されたのをご存じですかということで、18歳から30歳までの方を入れてらっしゃるそうですね。それがなくなったということで、22年から国際ロータリーへの会費の支払いが始まったということなので、よく言われるようにゼロクラブ出さないようにしたいということで寄付してく

ださいねって言ってらっしゃいました。あと公共イメージIT委員会につきましては、特に仰ってたのはやっぱり11月25日締め切りでのポリオキャンペーンフォトコンテストへの応募お願いしますということ言ってらっしゃいました。多分、応募率が少ないのかなということ。仰ってたのかなと思います。あとはRLIにつきましては、ロータリーリーダーシップ研究会ということで、Rotary Leadership Instituteということで受講していただくと、自分アップに繋がるし、あとは一日6講座で眠くならないということで、本当かなという気はしました。あとはロータリーがよくわかるということ。是非参加してくださいということでした。早川ガバナーの話が三つ目最後になりますけども、やはり会員増強につきましては増強ということで、増員と強化。二つの強化に分けてやっていると。目標としては年間1クラブ2名ということですが、なかなかそういうふうなところで新しい会員を増やすのに苦勞しているクラブも多いというお話でした。続いての職業奉仕委員会につきましては、地元にある会員の優良企業をアピールしてくださいということですけども、ロータリークラブに入ってもらっしゃる企業は全部優良なんじゃないかなと思うんですよ。審査受けて入ってるわけですから。でも、この辺アピールするのは難しいところはあるのかなという気はしております。あとは、学友委員会につきましては青少年がロータリークラブ主催の行事等に参加して、この人たちのことをロータリーファミリーと呼んでいるということで、将来ロータリークラブへの入会に繋がってきたいということでした。先程の齋藤愛さんのような会員に繋がってきたいというお話でしたね。早川ガバナーのお話については以上です。続いては、各種表彰についてということですけども、表彰関係はプログラムのほうでいきますと、今お持ちの方には26~38ページの中に書いてありますけども、本会員の表彰者としては、地区表彰として会員数の純増3名ということで第3位白河西ロータリーと。あと、財団寄付ということで年次基金、恒久基金、第10位白河西ロータリーということで、6,552ドル5セントということですね。今のレートではないので、2年前って言いましたかね。その間でちょっと130円、40円、20円、もしかすると10円だったかもしれないので、そのレートで計算してくれると日本円になるかなと思います。あとは、RC財団寄付認証ということで、ポール・ハリス・ソサエティということで、金田昇会員。ポール・ハリス・フェロー並びにマルチプル認証者ということで、金田昇会員、山口治会員。米山功労者マルチプルということで、金田昇会員、安部和夫会員、遠藤敦会員。永年

在籍ということで、30年ということで中目公英会員が表彰になるということでした。おめでとうございます。幾つかちょっと重なってはしまうんですけども、講演については先程、会長さんと齋藤さんからもありましたように大野均さんということで、実はこの方、郡山の三穂田中出身なんですね。そうすると、大体皆さん頭の中でどの辺だなというのはご想像つくかと思えますけども。その頃から野球をやって、清陵情報高校に入って野球部に入って続けて、日大工学部でラグビー部ということなんですけども。その名称が弱小チームからワールドカップで勝つまでということでした。でも、体格は大きいですよ。1メートル92の105キロですから。ジャイアント馬場さんよりちょっと小さいぐらいで、アントニオ猪木さんくらいかなというように感じの大きさですよ。知ってらっしゃる方は知ってらっしゃると思えますけども。講演内容要約については、2015年イングランドで開催された4年に一度のワールドカップラグビーで日本代表は優勝候補の南アフリカを破り、この大会で3勝を挙げることができたということで、今まで勝つことができなかったんですよ。体が小さいということで。先程の講演会の題にもありましたように、その弱小という意味は、やっぱりこの日本大学工学部のラグビー部のことなんですね。入った当初は部員数17名で、東北地区大学リーグ2位、二部。一部ではないんですね、二部ですね。全国無名。弱小ラグビー部、監督いない。監督いないってのはやっぱり大変ですね。校内で学生時代、先程両脇を屈強な先輩に抱えられて強烈に勧誘されたということで、多分両脇を捕まえられて上に持ち上げられて両足が多分地面に付いてない状態でラグビー部室に連れていかれたのかななんて想像してます。そんなに熱心に誘ってくれるなら、一度見に行くかということでラグビー部室に見に行ったそうです。半分は強制的に仕方なく行ったそのグラウンドに、この人たちの仲間になりたいと思わせる熱があったということですね。小林旭さんですよ。熱き心という。やっぱり大学生というんですね、やっぱり実習やレポートなど手いっぱいのはずなのということで、私もちょっと聞いた話では日大工学部って本当にこの実習とかレポート大変なんだそうですね。その中で、きつい汚い危険なラグビー部、その人たちは楽しんでたということで。今のなんか若者が就職する時に選ぶ、きつい汚い危険なというのはなんか当てはまっちゃいますけどね。それを楽しむというにはなかなか難しい部分がありますけども、そこにやっぱり自分の心を動かす感じるものがあってお話されてました。それが何かということですね、どうしたら勝てるのか。本気で意見を

出し合い、部員が少ない事を言い訳せずに、どんな辛い時でも仲間のためにグラウンドに立つ。チームのために体を張る。目の前の一回一回の練習を真剣にがむしゃらに取り組む。不安を払拭できるのは練習することということ、私たちもいろいろなロータリークラブに入って不安を払拭できるのは、やっぱり例会に参加することかななんて置き換えることできるかなって勝手に思っていました。それで、まとめに入りますけども当初は入社後は3度ワールドカップには出てるんですね。フランス、ニュージーランド、そして最後イングランドということ。その中で、見つけたものということで先程のお話にもありましたけど、覚悟を持って取り組む人には魅力があると。ラグビーの世界にもワールドカップラグビー憲章5つあるということで、品位、尊重、結束、規律、情熱。でも、やっぱり最後は日々いろんな方に支えられてるので感謝を忘れないということで、この辺などもロータリーの憲章なり我々の日々行ってることに相通じるのかなと思いました。難しい話はここまででして、当日のビデオも1分間くらい持ってきてんですよ。会場の雰囲気わかってもらうために。それをちょっと見ていただければなと思います。

～～ビデオ上映～～

はい、こんな感じで約1300名近くの方々がお集まりになっていらっしゃいました。あとはスナップショットタイムということで、いくつか写真撮らせていただきましたので、それをご覧になって終わりにしたいかなと思います。全体会場の入り口です、諸橋会員がポリオ募金に励んでいらっしゃいました。我々もお会いした時にご苦労様ですって言ったんですけども、募金せずにそのまま僕は通り過ぎてしまったので後悔してます。本当に一生懸命やってらっしゃるので、何か機会があればやっぱりポリオ募金のほうには寄付していかなくちゃいけないかなと熱い思いを感じました。あとは会場での参加会員の皆様方です。はい、こういった形で皆様参加されてお聞きになってたということですね。これは会場の入り口での参加された方々の写真です。最後の写真になります。自分です。運天さんに撮っていただきました。以上でございます。ありがとうございました。

